

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	数学	科目：	数学Ⅰ	単位数：	3	指導学年：	1
使用教科書	新編 数学Ⅰ（数研出版）	副教材	3TRIALⅠ+A（数研出版）				

年間指導目標：

数学における概念や原理・原則を体系的に理解するとともに、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
 事象を数学的に考察したり表現する能力を培い、数学のよさを認識できるようにし、それらを活用する態度を育てる。
 数学を用いた問題解決の過程を振り返って考察し、自己評価の基に改善しようとする態度を養う。

	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・原則を体系的に理解する。 日常の諸問題を数学的な表現を用いて考察したり、数学的に解釈したりする力を身に付ける。 数学的な問題を的確に処理し、解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力を養う。 数学的な表現を用いて社会における量や事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学の良さを認識し積極的に活用しようとする態度、困難な問題にあっても粘り強く解決しようとする態度を養う。 問題解決の過程や自己の学習過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配 時 数
					a	b	c	d	e	
1 学 期	中 間 考 査	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式	(知)	基本的な多項式の演算、解法とその応用を理解し、方程式と不等式等における基礎的な知識を身に付けている。	○	○				18
			(思)	数の体系を実数まで拡張する意義に気付かせ、数の概念の理解を深める。 数と式、実数をを具体的な事象に関連した課題の解決に活用し、数学的に考察できる。	○	○		○		
			(態)	数と式、実数に関心をもち、問題解決のために主体的かつ意欲的に活用する。 事象を数学的にとらえることのよさを認識し、学習する理論を積極的に活用しようとする。		○		○	○	
1 学 期	期 末 考 査	第3節 1次不等式 第2章 集合と命題	(知)	不等式の解の意味や不等式の性質および集合と命題に関する基本的な概念について理解する。	○	○				18
			(思)	不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、命題の条件や結論に着目し、命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断することで、命題を証明することができる。	○	○		○		
			(態)	具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式および集合と命題の概念度を活用したりする力を培う。		○		○	○	

2 学 期	中 間 考 査	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変 化	(知) 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解すると ともに、関数の値の変化を考察し、2次関数の最 大値や最小値を求めることができるようにする。	○	○				24
		(思) 2次関数の式とグラフとの関係について、コン ピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくな どして多面的に考察する。	○	○		○			
		(態) 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関 数の最大・最小の考えを活用しようとする。		○		○	○		
2 学 期	期 末 考 査	第3節 2次方程式と2次不 等式 第4章 図形と計量 第1節 三角比	(知) 2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めら れるようにする。三角比の意味やその基本的な性 質について理解する。	○	○				24
		(思) 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフと の関係について理解する。	○	○		○			
		(態) 2次不等式を解くときに、図を積極的に利用す る。2次関数で表される事象の具体例について興 味をもち、考察しようとする。		○		○	○		
3 学 期	学 年 末 考 査	第1節 三角比 第2節 三角形への応用 第5章 データの分析	(知) 三角比の意味やその基本的な性質について理解 し、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力を 養う。データの散らばり具合や傾向を数値化する 方法を考察する力を養う。	○	○				33
		(思) 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、 三角比、を活用して問題を解決したりする力など を培う。目的に応じて複数の種類のデータを収集 し、分析を行うことができる。	○	○					
		(態) 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しよ うとする。データを分析することで、主張の妥当 性について、批判的に考察したりする力などを養 う。		○		○	○		
合計									117